

# 笑顔と決意 新たな一歩

## 県内各地で入社、入学式

新年度を迎えた1日、県内でも官公庁の辞令交付式や企業の入社式、大学の入学式が行われた。若者たちは晴れやかな表情で人生の新たな一歩を踏み出した。

辞令を受け取る京葉銀行の新入社員（1日、千葉市中央区で）

千葉市中央区の県文化会館では、県の新規採用職員が辞令交付式に臨んだ。県人事課によると、今年度の新規採用者数は前年度より61人少ない595人。女性職員の割合は45・2%と過去10年で最高となった。交付式では高梨みちえ副知事から新規採用職員に辞令が手渡された。熊谷知事は「それぞれの部署に意味がある。終わりから逆算して全力で仕事に励んでほしい」とあいさつ。道路環境課に配属された安達洗太さ

ん(22)は「県民目線を大切に組みたい」と意気込んだ。滑走路の新増設など機能強化が進む成田空港では、成田国際空港会社(NAA)とグループ会社8社が合同で入社式を行った。グループ会社を合わせて、コロナ禍以降で最多の216人が入社し、新入社員が初々しいスーツ姿で出席した。新入社員代表であいさつしたNAAの渡辺海音さん(23)は「世界とのつながりを感じられる空港という場所に幼い頃から憧れを抱いてきた。世界トップレベルの空港にするため、日々精進していきたい」と意気込

んだ。京葉銀行(千葉市中央区)には119人が入行。入行式では藤田剛頭取が「新しい仲間を迎えられたことを心からうれしく思う。共に学び、成長し、地域の豊かな未来を築こう」と呼びかけた。浦安支店に配属予定の内田丈太郎さん(22)は「地域に貢献し、親しまれる行員になりたい」と意気込んだ。神田外語大(千葉市美浜区)では、1000人を超える1年生が学生生活のスタートを切った。

舞張メッセで行われた入学式で、声沢真五学長が「生涯学び続ける力を養ってほしい」と式辞を述べ、新入生代表の嶋浦屋凛さん(18)が「4年間を必ず実りあるものにします」と力強く宣誓した。